

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドラインに基づく情報提供

1. 学校の概要目標及び計画

(1) 設置法人

法人名	学校法人 榎本学園		
代表者名	理事長 榎本 雄文		
所在地	東京都町田市中町 1-13-1		
連絡先	TEL 042-720-4826		
役員	理事長（常勤）	榎本 雄文	（町田製菓専門学校・ 町田福祉保育専門学校 学校長）
	理事（常勤）	松下 祐介	（町田調理師専門学校 学校長）
	理事（常勤）	中溝 京子	（町田美容専門学校 学校長）
	理事（非常勤）	岩本 勉	（学校法人理事長）
	理事（非常勤）	芳村 浩司	（会社員）
	理事（非常勤）	石井 篤司	（学校法人理事長）
	監事（非常勤）	吉田 光一	（大学教員）
	監事（非常勤）	池淵 元	（元高校教諭）

(2) 校長名、所在地、連絡先等

校長名	中溝 京子
所在地	東京都町田市中町 2-10-24
連絡先	TEL 042-724-3234

(3) 教育理念・目的

榎本学園の「常に社会の動向に適合した職業人を育成する」との教育理念のもと、本校は学校教育法の規定に基づき、社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成を目的とする。

(4) 教育目標及び方針

- ① 実践的な職業教育機関として、実社会との接点をカリキュラムや学生指導の中に取り入れ、より実践的なキャリア教育を目指す
- ② 社会人としての礼儀・マナーの基本教育をカリキュラムに導入し、入学時より様々な角度からアプローチする

(5) 入学定員、入学者数、在学総数（2025 年 5 月 1 日現在）

	専門課程美容学科
入学定員	80
総定員数	160
在学総数	140

(6) 学園、学校の沿革

年月	出来事
昭和 18 年 4 月	榎本春子により自宅を開放、榎本洋裁として発足（当時の生徒数は 15 名であった。戦時下の洋裁教室のため、モンペ、国民服の裁断を教えていた。）
昭和 22 年 3 月	東京都の公認校として町田洋裁女学院（後・町田家政福祉高等専修学校）開校
昭和 28 年 3 月	校名を町田洋裁女学院から町田高等技芸学校に改称
昭和 29 年 1 月	創立 10 周年記念式典
昭和 35 年 12 月	料理教室を新築 料理学校を開設
昭和 49 年 10 月	創立 30 周年記念式典
昭和 51 年 4 月	専修学校制度の創設により、校名を町田技芸高等専修学校に改称
昭和 53 年 7 月	学校法人認可
昭和 54 年 4 月	東海大学付属望星高等学校との技能連携はじまる
昭和 55 年 4 月	町田調理師専修学校（現・町田調理師専門学校）開校
昭和 60 年 4 月	町田調理師専門学校に改称
平成元年 4 月	町田福祉専門学校（現・町田福祉保育専門学校）開校
平成 5 年 3 月	町田調理師専門学校第 2 校舎落成
4 月	町田調理師専門学校／上級調理師科開設
平成 6 年 4 月	町田技芸高等専修学校／福祉科開設 校名を町田家政福祉高等専修学校に改称
平成 10 年 5 月	町田家政福祉高等専修学校・町田調理師専門学校新校舎落成
平成 13 年 4 月	町田福祉専門学校／児童福祉学科（現・こども保育学科）開設
平成 14 年 4 月	町田美容専門学校開校
平成 16 年 10 月	町田美容専門学校／美容学科通信課程開設
平成 18 年 4 月	町田製菓専門学校開校
平成 19 年 4 月	新理事長に榎本秀規就任
平成 22 年 4 月	町田福祉保育専門学校に改称
平成 23 年 3 月	町田家政福祉高等専修学校閉校
4 月	町田調理・製菓技術研修所開設
平成 26 年 4 月	町田製菓専門学校第 2 校舎落成
平成 30 年 4 月	町田福祉保育専門学校／保育学科開設
平成 30 年 6 月	新理事長に榎本雄文就任
令和 2 年 4 月	町田美容専門学校 高等課程開設

2. 各学科等の教育

(1) 授業科目等の概要

1) 美容学科

授 業 科 目		必・選の 別	1 年次	2 年次	合 計 授業時数	実 務 経 験 の ある教員に よる 授 業
			年間授業時 間数	年間授業時 間数		
関係法規・制度		必	15	15	30	
衛生管理		必	50	40	90	
保健		必	50	40	90	
香粧品化学		必	30	30	60	
文化論		必	30	30	60	
美容技術理論		必	80	70	150	○
運営管理		必	15	15	30	
美容実習		必	400	500	900	○
小 計			670	740	1,410	
一 般 教 養 課 目	外国語	必	30		30	
	スタイル画	必	30		30	
	食と健康学	必	30		30	
	社会福祉	必	15	15	30	
	カウンセリング	必	15	15	30	
専 門 教 育 課 目	色彩学	必	30	30	60	
	美容総合技術	必	240	150	390	○
小 計			390	210	600	
総 合 計			1,060	950	2,010	1,440

(2) シラバス

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

(3) 進級・卒業要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

【成績評価の基準】

- 各授業科目の評価は、筆記試験を基準に、学年末出席状況、提出物、課題報告ならびに必要なと認められる学習作業の結果を勘案し、総合して行う。出席時間数は美容師養成施設の規程に従うものとする。

- 総合評価は 100 点満点中、60 点以上を合格とし、以下を評価基準とする。

評価	得点
A	80 点以上

B	70 点以上 79 点以下
C	60 点以上 69 点以下
D	59 点以下

- 3) 評価 D の場合、再試験を行い、結果が 60 点以上であれば評価 C とする。

【進級・卒業要件】

- 4) 進級要件：学年毎に修了すべき授業科目について、合格基準に達していること。
 5) 卒業要件・判定手順：校所定の全課程を修了したと認められたとき及び納付金を完納している場合に卒業判定会議で審査の上認定する。

(4) 客観的な指標に基づく成績分布

成績評価を厳格に行いより教育効果を高めること、学生の学習意欲を触発し学習目標を明確化するため、GPSA (Grade Point Simple Average) を導入している。A・B・C・D の評価に対して、それぞれ 3・2・1・0 点の Grade Point を与え、Grade Point の総数を総単位数で割ることにより、平均点 (Grade Point Simple Average) を算出する。

(5) 取得を目指す資格・検定等、及び実績 (2025 年 3 月卒業生：58 人)

資格・検定名	受験者数	合格者数
美容師国家試験受験資格	58	54
介護職員初任者研修修了資格	5	5
ジェルネイル検定	19	15
パーソナルカラー検定 2 級	13	11
パーソナルカラー検定 3 級	26	24

3. 教職員

(2) 学校法人榎本学園教職員数 (2025 年 5 月 1 日現在：185 人)

	常勤教員・助手			非常勤 教員	常勤 職員
	校長	教員	助手		
法人事務局					7
町田調理師専門学校 専門課程	1	11	5	13	2
町田調理師専門学校 高等課程		9	2	16	1
町田福祉保育専門学校	1*	9	0	41	1
町田美容専門学校 専門課程	1	10	0	12	2
町田美容専門学校 高等課程		8	0	11	
町田製菓専門学校	1*	10	0	10	2
計	3	58	7	103	15

*兼務

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

- 企業説明会的なガイダンスではなく、就職への意欲や意識を高め、自分の未来予想図を描くことを目的として、いろいろな立場の美容師さんを招き、企業を知ると共に働

く事の意義、楽しさや厳しさを学ぶガイダンスを行っている。

(2) 実習・実技等の取組状況

- ・ インターンシップやサロンマナー実習を取り入れ、実践で役立つカリキュラムを編成している。
- ・ 学生の学ぶ意欲に応え、専門的に学ぶことができるよう選択実習制度を実施している。
- ・ 始業前や放課後に行う自主練習を実習教員がサポートする等、学生が自主的に行う課外活動をサポートしている。

(3) 就職支援等への取組支援

- ・ キャリア教育の一環として就職ガイダンス、卒業生による就職体験説明会等に加え、模擬試験・模擬面接等のキャリア教育に取り組む他、就職課とクラス担任が連携し、ホームルームや個別面談で就職相談に対応している。
- ・ 美容師免許の取得に際しては、美容師養成施設として、指導要領に準じ、適切な指導体制を構築している他、美容業界で求められる資格取得をサポートすべく、法令の改正や美容業界の最新動向をフォローしている。

5. 様々な教育活動・教育環境

【学校行事】

		1 年次	2 年次
4 月	入学式・オリエンテーション	○	
5 月	インターンシップ		○
	企業説明会	○	○
7 月	前期期末試験	○	○
8 月	夏休み	○	○
9 月	町美フェスタ～ステージ	○	○
	海外研修		○(任意)
11 月	インターンシップ	○	
	町美フェスタ～コンテスト		○
12 月	町美フェスタ～ファイト	○	
	冬休み	○	○
2 月	期末試験	○	○
3 月	介護初任者研修	○(任意)	
	卒業式		○
	修了式	○	

【主な施設】

施設名	概要・特徴
美容実習室	メイクやカット等、美容全般の実習を行う多目的実習室。
シャンプー実習室	サイドシャンプー台とバックシャンプー台を設置。
エステ実習室	エステ用ベッドを置き、マツエクの実習にも使用可能。
サロン実習室	一般サロン同様のシミュレーションが行える。
体育館	フィットネス、球技等の他、ヘアショー等も実施。

6. 学生の生活支援

(1) クラス担任制度

担任制によるクラス・授業を運営している。個人面談、保護者面談等で学生の把握、指導を行っている。また、生活指導、就職指導の担当教員とも連携をとり、学校の質の向上、退学防止、就職率の向上に努めている。

(2) 学生支援への取り組み状況

1) 進路・就職に関する支援体制について

- ・ 就職課と担任によるサポート体制を敷いている。
- ・ インターンシップを実施している。
- ・ サロンマナー実習を実施している。

2) 学生相談に対する体制について

- ・ 相談、問題のある学生に対しては担任による面談を実施している。

3) 学生に対する経済的な支援体制について

- ・ 公的奨学金利用の支援
- ・ 分納制度（修学支援の項目参照）

4) 保護者との適切な連携について

- ・ 必要に応じて三者面談を実施している。

5) アルバイトの斡旋について

- ・ 就職先企業、卒業生の経営する企業でのアルバイト求人を公開

6) アパートの斡旋について

- ・ 提携不動産業者によるアパートを斡旋している。

7) 卒業生への支援体制について

- ・ 卒業後も転職、再就職のサポートを実施している。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

(2) 【年2期 合計4回納入】（円）

	1年次前期分		1年次後期分 (1年次8月)	2年次前期分 (1年次2月)	2年次後期分 (2年次2月)
	合格後手続	入学前手続 (2月)			
入 学 金	150,000	-	-	-	-
授 業 料	200,000	100,000	300,000	300,000	300,000
実 習 費	100,000	40,000	140,000	140,000	140,000
施設設備費	-	240,000	-	240,000	-
合 計	450,000	380,000	440,000	680,000	440,000
総 計	2,390,000				

教材費：600,000円

(2) 修学支援

1) 分割納入制度

入学時の納入金の負担を軽減し、分割納入をしていただくプランを設けている。

【年3期 合計6回納入】(円)

	1 年次				2 年次		
	合格後手続	入学前手続	8 月	11 月	2 月	8 月	11 月
入 学 金	150,000						
授 業 料	200,000		200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
実 習 費	100,000		90,000	90,000	100,000	90,000	90,000
施設設備費		80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
事務手数料		5,500					
合 計	450,000	85,500	370,000	370,000	380,000	370,000	370,000
総 計	2,395,500						

教材費別途 600,000 円

【毎月納入】(円)

	入学前		1 年次			～	2 年次			
	合格後手続	入学前手続	5 月	6 月	7 月		11 月	12 月	1 月	2 月
入 学 金	150,000	-	-	-	-					
授 業 料 等	300,000	40,000	100,000	100,000	100,000				100,000	100,000
事務手数料	-	24,200	-							
合 計	450,000	64,200	100,000	100,000	100,000		100,000	100,000	100,000	100,000
総 計	2,414,200 円									

教材費別途 600,000 円

※分割納入は金融機関の自動引落が要件となります。

8. 学財務情報

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

8. 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

9. 国際連携の状況

(1) 海外研修

2 年生の学生が任意で参加（2019 年度はアメリカ・ハリウッド、2024 年度は韓国にて実施）。

有名アーティストによる特殊メイク及びヘアメイク講習と、現地モデルへのヘアメイク実践研修を実施。

以 上